

昭和39年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行ないます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 まで申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

つぎの日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

昭和39年度月例会スケジュール

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
降 水	5月	3月31日	気象研：今井
乱 流	6月		測器課：清水
山の気象	6月		予報課：奥山
高層気象	7月	5月31日	高層課：関口
気象学史と教育	8月		気象研：渡辺
生 気 候	9月		長期予報：朝倉
気象災害	10月		予報課：石原
気象統計	10月		測器課：清水
水気象（蒸発散）	10月		予報課：石原
風のシンポジウム	11月		気象研：渡辺
大気汚染	11月		気象研：神山
台風	12月		長期予報：朝倉

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
大気海洋相互作用	12月		気象研：今井(淵)
豪 雨	1月		予報課：石原
太陽活動と放射	1月		長期予報：朝倉
気象電気	1月		気象研：今井(北川)
気 候	1月		長期予報：朝倉
観測と測器	2月		測器課：清水
長期予報	2月		長期予報：朝倉
数値予報	2月		気象研：相原
レーダー気象	2月		気象研：今井
豪 雪	3月		気象研：相原
航空気象	3月		東京航気：上松
水気象(降雨と流出)	3月		予報課：石原

6 月 月 例 研 究 発 表 会

主 題：山の気象シンポジウム
 会 期：6月13日(土)午後1時
 会 場：気象庁第1会議室

1. 桑野晴光(三共)：春の北アルプスの気象観測 (15分)
2. 城所邦夫(気象協会)：昭和38年夏山の気象報告 (15分)
3. 小岩清水(京王学園)：甲池峰山気象報告(第2報) (15分)
4. 高橋忠太郎(都立大)：ポスト・モンスーン期における東ネパールの気象 (20分)
5. 五百沈智也(国土地理院)：空中写真による積雪深となだれの調査 (20分)
6. 吉川友章(気象協会)：家型テントの耐風強度について (15分)
7. 末松 誠(明大)：山の遭難と気象の統計 (15分)
8. 山本三郎(船津測)：富士山の気象(第7報-富士山の遭難と気象) (20分)
9. 大井正一(気象庁予報)：ヨーロッパより帰って(スライド) (30分)

総 会

主 題：乱流
 会 期：昭和39年6月26日(金)13:30より
 会 場：気象庁第1会議室

1. 日野幹雄(電力中研)：突風率の理論 (15分)
2. 塩谷正雄(鉄道技研)：大気最下層における乱渦のスケール(その1) (15分)
3. 竹内清秀(気象庁測器)：地面付近における各種相関係数について (15分)
4. 岡本雅典(気象大)：極端に安定な場合の地面付近の気温変動 (15分)
5. 岡本雅典(気象大)：極端に安定な場合の温度傾度の高さによる変化 (15分)
6. 伊藤昭三(気象庁測候)：安定な成層における大気拡散 (15分)

8 月 月 例 会 講 演 申 込

主 題：気象学史と気象教育
 会 期：8月21日(金)
 会 場：気象庁会議室

申込先：東京都千代田区大手町1の7
 気象庁内 長期予報管理官室
 締切期日：6月30日